

[いよぎんホールディングス]



営業の概況

当連結会計年度における業績は、次のとおりとなりました。

連結経常収益は、海外金利の上昇及び運用残高の増加により資金運用収益が増加したことなどから、前年度比198億4百万円増加の1,927億58百万円となりました。また、連結経常費用は、国債等債券売却損が減少したものの、海外金利の上昇により資金調達費用が増加したことなどから、前年度比36億41百万円増加の1,341億79百万円となりました。

この結果、連結経常利益は前年度比161億64百万円増加の585億79百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年度比115億65百万円増加の394億64百万円となりました。

連結財政状態につきましては、総資産は前年度末比7,076億円増加して9兆2,583億円となり、純資産は前年度末比831億円増加して8,430億円となりました。

主要な勘定残高につきましては、譲渡性預金を含めた預金等は前年度末比1,287億円増加して6兆9,250億円、貸出金は前年度末比3,410億円増加して5兆6,453億円、有価証券は前年度末比5,804億円増加して2兆734億円となりました。



最近5連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移

連結会計年度別 項 目	2019年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月 31日)	2020年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月 31日)	2021年度 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月 31日)	2022年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月 31日)	2023年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月 31日)
連結経常収益	— 百万円	—	—	172,954	192,758
うち連結信託報酬	— 百万円	—	—	5	7
連結経常利益	— 百万円	—	—	42,415	58,579
親会社株主に帰属する当期純利益	— 百万円	—	—	27,899	39,464
連結包括利益	— 百万円	—	—	41,050	94,189
連結純資産額	— 百万円	—	—	759,838	843,027
連結総資産額	— 百万円	—	—	8,550,778	9,258,385
1株当たり純資産額	— 円	—	—	2,462.02	2,781.71
1株当たり当期純利益	— 円	—	—	89.13	128.91
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	— 円	—	—	89.08	128.84
自己資本比率	— %	—	—	8.88	9.10
連結総自己資本比率	— %	—	—	15.01	16.05
連結Tier1比率	— %	—	—	15.00	16.05
連結普通株式等Tier1比率	— %	—	—	15.00	16.04
連結自己資本利益率	— %	—	—	3.76	4.92
連結株価収益率	— 倍	—	—	8.43	9.09
営業活動によるキャッシュ・フロー	— 百万円	—	—	△ 368,753	296,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	— 百万円	—	—	234,070	△ 481,437
財務活動によるキャッシュ・フロー	— 百万円	—	—	△ 12,804	△ 11,089
現金及び現金同等物の期末残高	— 百万円	—	—	1,364,804	1,168,668
従業員数	— 人	—	—	2,986	3,019
[外、平均臨時従業員数]	[—]	[—]	[—]	[1,257]	[1,185]
信託財産額	— 百万円	—	—	1,589	1,702

- (注) 1. 当社は、2022年10月3日設立のため、2021年度以前の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 2022年度の連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった株式会社伊予銀行の連結財務諸表を引き継いで作成しております。従って2022年度には、株式会社伊予銀行の第2四半期連結累計期間が含まれております。
3. 自己資本比率は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。
4. 連結総自己資本比率、連結Tier1比率及び連結普通株式等Tier1比率は、銀行法第52条の25の規定に基づく2006年金融庁告示第20号に定められた算式に基づき算出しております。当社は、国際統一基準を適用のうえ、2023年度からパーゼルⅢ最終化を適用しております。
5. 信託財産額は、「金融機関の信託業務の兼営等に関する法律」に基づく信託業務に係る信託財産額を記載しております。なお、連結会社のうち該当する信託業務を営む会社は株式会社伊予銀行1社であります。